

地域と組織を超えて連携：繋がることで見えてくる道南の未来！

道南サミット

【道南サミットとは】

道南サミットは2021年に発足した任意団体で、「道南のプレイヤーが繋がり成長するきっかけ作り」を目的に「出会い」と「学び」の場を提供しています。

設立は2021年に開催した「道南フェスティバル」で繋がった道南各地のプレイヤーが、この繋がりを継続的に保つことでさまざまな化学反応が起こるのではないかという可能性を感じ、イベント終了後、実際に何ができるのかミーティング(当時はこれを『道南サミット』と称した)を行ったのがきっかけです。

第1回は、メンバー同士の理解を深めるキャンプイベント「道南サミットキャンプ」を開催。その後、「道南の未来を考えよう」というトークセッションや、地域づくりに必要不可欠なコーディネーターを育成する「道南コーディネーター研修事業」、さらに道南の地域おこし協力隊を繋ぐための組織「道南地域おこし協力隊ネットワーク」を設立するなど、2021年の発足からさまざまなチームや事業が生まれています。



道南サミットキャンプでの集合写真

【主な事業内容】

道南サミットとの出会いを通じて生まれたさまざまなチームや事業では、独立して動ける事業は、道南サミットを経由せず、それぞれが活動を行っています。そのような中で道南サミットが主催する3つの事業があります。

① 道南フェスティバル

道南フェスティバルは、道南サミット発足のきっかけとなった事業で、毎年10月の第3週目の土日に函館の商業ビル、「シエスタハコダテ」で開催しています。

2つあるテーマの1つ目は、「道南の人に道南の魅力を再発見してもらう」です。地元住民は、意外と地域の魅力に気づいていません。そんな地域の食や人の魅力を体験で知ってもらうために道南全18市町村に参加してもらい、2日間で道南全域と繋がることのできるイベントを行っています。イベントでは、道南各地の美味しい飲食や物産の出展はもちろん、木工ワークショップやフォトコンテスト、観光スポットやイベント情報展示、動画上映、ゆるキャラのイベント、アーティストライブなど、地域を満喫できる内容となっています。

2つ目のテーマは、「プレイヤーの成長」。このイベントを通じて道南のプレイヤーが成長できる仕掛けをたくさん用意しました。例えば、今年から「道南サミットチャレンジピッチ」という、各地域のプレイヤーのチャレンジをプレゼンするイベントを開催し、プレイヤーの成長に繋がるピッチコンテストを開催しました。さらに、イベントの中のコンテンツを各道南サミットのプレイヤーが担当し、マネジメントの経験を積んでいただくなど、イベント運営に関わる人材育成を意識した運営方法を実践しています。今年は、特に「運営メンバーの成長」に力を入れた内容となっており、イベント後、さまざまな事業の立ち上げや、既に動いている事業が加速するなど、道南各地で「進化」が見られるのではと楽しみにしています。



道南フェスティバルにてフォトコン会場での写真

② 道南サミットキャンプ

2021年から毎年開催している「道南サミットキャンプ」は、1回目の道南サミットの集まりから生まれた1つ目の事業で、メンバー同士の親睦を深めることを

目的として始めました。2年目からはテーマを「ギブ」と「表現」に設定し、お金を介さずにそれぞれがギブしたいものを提供し合う場のイベントに進化しています。農家は野菜を持ってきたり、シェフはそれを調理、キャンプの達人がキャンプの技術をシェアし、アーティストは音楽や即興の演劇を披露したりと個性豊かで素敵なギブと表現が溢れる2日間のキャンプです。



道南サミットキャンプで実施したキャンプファイヤー

③ 道南コーディネーター研修事業

3つ目の事業は、今一番力を入れている「道南コーディネーター研修事業」です。

この事業は、メンバー同士が話をしている中で、道南各地で地域のキーマンとなる人の存在や外から来る人材と地域住民を繋げるハブとしての能力が大事という結論に至りました。現状の道南をそのような目線で見たと、道南各地に存在するキーマンの経験や能力不足、あるいは全地域のコーディネーターになり得るキーマンがいない、といった課題を感じました。

そこで道南地域のコーディネーターを育成・発掘するための長期プロジェクト「道南コーディネーター研修事業」がスタートしました。

具体的には、1年間で約4回の座学と3回のフィールドワークを通じて、地域コーディネーターの成長、そして新たなコーディネーターの発掘に繋がります。

現時点では、「自己分析」「地域分析」「マイビジョン作成」など、自ら地域を見つめ直して将来を考える議論（ワーク）に始まり、「コミュニケーション講座」など、コーディネーターとして成長するために必要な勉強会を3回ほど実施してきました。

実際に鹿部町、森町、厚沢部町の地域にみんなで赴

き、コーディネーターの案内で現地を見学し、各地域の課題や活動を知った上で、より良い地域や活動にしていくための議論を重ねてきました。共通した課題がたくさんありつつも、各地域のユニークな課題や活動など、現地でしか学べないこともたくさんあると実感し、これからも座学+フィールドワークというコラボは継続したいと思っています。



地域コーディネーターの役割

【今後の目指したい未来】

道南サミットが発足して2年が経ち、さまざまな出会いと化学反応があちこちで起きてきましたが、まだスタート地点に立ったばかりだと思っています。

現在、コアなメンバーは8人で、その他に繋がっているメンバーは125人ほどいます。それぞれの得意分野を活かして連携することで、今後の法人化を目指し、広域の観光推進、移住推進、地域おこし協力隊支援、そして商品開発など、新たな価値が生まれる事業を発掘し、収益化が可能な事業を確立するなど、幅広く質の高い価値を提供していきたいと思っています。

また、今まで個々の動きで成果の出ていなかった分野も、地域や業種を超え連携することでうまくいく、そんな事例をたくさん作っていききたいと思います。そして、その先には道南でチャレンジする若者が増え、それぞれの街で多様な取り組みが生まれ、さらに進化をしていく、そんな道南の未来を目指し、今後も道南サミットの活動を通じ、道南全体の活性化に繋がる取り組みを行っていききたいと考えています。

道南サミット | note
https://note.com/donan_summit

